

グローバル財務管理の高度化に向けた論点と取り組み事例

●プログラム●

【開催主旨】

グループ全体の資金残高や外貨エクスポージャーなどの財務情報を可視化することは長らく日本企業にとっての重要課題の一つとなっていますが、昨今の各種システムやサービスの発展に伴い、財務情報の可視化に取り組む企業が増えてきました。しかしながら、システムを導入したものの銀行から思うようにデータが収集できない、一定程度の可視化は実現できたが次の段階に発展できない、といった新たな課題に直面している企業が散見されます。

そこで、本セミナーでは、既に取組みを進めている企業はもちろん、これから取組みを本格化する企業も念頭に、日本企業の財務管理を取り巻く環境変化を整理した上で、日本企業の財務が直面しがちな課題と検討すべき論点を解説します。特に、多くの日本企業がつまづく「財務情報の可視化」に焦点をあて、推進にあたって考えておくべきポイントや実際の取り組み事例についてご紹介してまいります。

◆日時：2016年8月2日(火) 13:30~16:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

CFO サービス シニアマネジャー 近藤 泰彦氏(こんどう やすひこ)

【略歴】

グローバル本社の要件検討、ファイナンス組織のビジョン策定・組織変革、グローバル・キャッシュ・マネジメントやシェアード・サービス・センターの構想策定など、ファイナンス領域を中心とした戦略策定、組織・業務改革を数多く手掛ける。また、日本企業の収益性やリスクマネジメントの状況、キャッシュ・マネジメントの現状や課題など、経済産業省の委託を受けた日本企業の実態調査なども多数経験している。

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

CFO サービス マネジャー 松井 詩帆氏(まつい しほ)

【略歴】

CFO 組織向けサービスとして、中期経営計画の策定支援、組織再編支援、管理会計制度設計/構築支援・決算早期化支援などのプロジェクトを数多く手掛けている。

近年は、財務領域の機能配置の検討、為替エクスポージャーや余剰資金のアセスメントの実施、ポリシー策定に加え、トレジャリー・マネジメント・システムの導入案件に多く携わっている。

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 **FAX 03-5215-0951**

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます

●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→

【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人 企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

161431-0601	※ 2016.8.2 グローバル財務管理		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名 前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名 前	
e-mail			

グローバル財務管理の 高度化に向けた論点と取り組み事例

1. グローバル財務マネジメントのトレンド

- (1) 日本企業の財務管理を取り巻く環境の変化
- (2) 日本企業の動向とトレジャリー・マネジメント・システム導入のトレンド
- (3) トレジャリー・マネジメントの高度化のステップ
- (4) ありがちな課題と目指す姿を検討するための論点

2. 財務情報の可視化のアプローチ

- (1) 口座情報の可視化を推進する上での課題
- (2) 口座情報の可視化に向けた取り組み
 - ・整備すべきルールとは
 - ・具備すべきプラットフォームとは
- (3) 取り組み事例と取り組み効果についてのご紹介

3. 質疑応答